慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(Hogaku kenkyu henshu iinkai)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1981
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.54, No.3 (1981. 3) ,p.295- 295
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	遠峰四郎教授退職記念論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19810315-0295

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

イラン革命で日本人が衝撃を受けたのは、一つには、石油依存の経済体制の将来に対する不安を原因とするものであるが、より本質的には、イスラム国家における戒律の意義についてのこれまでの無知を原因とするものであるといつてよいであろう。これは、わが国において、西欧および北米以外の世界に関する真の地域研究が未成熟であることを物語る。

慶應義塾大学法学部政治学科においては、従来からいわゆる第三世界の地域研究に重点を置いた研究・教育体制がとられて来ているものと自負しうるが、その先駆的な地位にあつて、イスラム法の研究・教育を通じてわれわれを指導して来られたのが遠峰四郎教授である。

今般、遠峰教授が定年を迎えられるにあたつて、その御功績に対するわれわれの敬意をあきらかにするために、記念論文集の刊行が企画された。企画から実現まで中心的な作業をして下さつたのは、当時は未だ編集委員会の一員ではなかつた小田英郎教授である。当編集委員会としては、右の企画に満腔の賛意を表しこれを本誌の一号として編集・刊行することを引き受けるとともに、小田教授の労を多とするものである。

幸いここに、政治学科のスタッフおよび学外における遠峰教授と同攻の研究者の貴重な論稿をえて、このような充実した記念号の編集を了えることができた。当編集委員会として、あらためて協力をいただいた諸家に謝意を表する。

昭和五六年三月

法学研究編集委員会